

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 5人
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6施設	(回答数) 5施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援時の訪問先施設への対応や保護者対応について満足していただいている。	日頃より丁寧な対応を心掛け、信頼関係が構築できるように配慮していく。	訪問先施設とは支援時のみでなく、送迎時や日程調整の際にも配慮が行き届いた対応を心掛けていく。 保護者様とは今後も密なコミュニケーションを心掛けていく。
2	事業所の支援に対し満足していただいている。	保育所等訪問支援を行うことによって、学校生活や日常生活に取り入れられることを意識して支援に繋がっている。	今後も引き続き保育所等訪問支援を行うことによって、学校生活や日常生活が円滑に送ることができるよう、支援の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設との情報共有の場が一方通行になっている印象を持たれていた。	訪問先施設での状況を聴取することを意識し、事業所での状況を共有できていない場合があった。	訪問先施設での情報共有について職員間でも共有し、統一した支援を行えるように改善していく。
2	保護者交流会を開催できていない。	保護者とのコミュニケーションは図れていたが、保護者同士の交流の場を作ることができなかった。	保護者参観週間や日曜日開所等、普段の活動を見てもらいながら同時に、保護者同士の交流の機会を作っていく。
3	保育所等訪問支援が観察支援に留まっている。	直接支援に関する知識が不十分だった。	訪問先施設との関係構築の元、可能な範囲で直接支援を行っていく。また直接支援に関する知識を身に付けるための情報収集をしていく。

事業所名

公表日

2025年3月14日

運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和一宮教室

利用児童数

6人

回収

5人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		・一年間ありがとうございました。 ・こちら側の時間が十分取れず、助言をいただく機会が少なかったことすみませんでした・・・。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1		・満足している。 専門的な知識をいただけて勉強になりました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	1		・回答している。 ・質問（相談）をした際には、丁寧に回答ありがとうございました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1		・特に給食の指導に関しては手厚く支援いただけありがたかったです。日々、積み重ねて色々な食材を口にするのを継続していきます。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	1			
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>①悩んだことにはいつも相談に乗って下さったりと助かっております。訪問支援の時に、後でお話をして下さる時とそうでない時があるので毎回アドバイス等いただけると思います。</p> <p>②訪問日の決定についてですが〇月は△回というのを事前に教えていただけたらとありがたいです。 また、学期ごとになりたい訪問日を決めることができていると、こちらとしても見直しをもちやすいのでありがたいです。（急な行事等で変更していただく必要がなくてもいいかもしれませんが・・・）</p> <p>③いつもお世話になっています。全てのチェック項目に対して「いいえ」というわけではないですが、私たち担任も1年、加配職員は2年児童と接し毎日生活する中での様子をお伝えさせてもらったりします。確かに私たちは専門的ではありませんが、皆25年程支援してきた経験の元、児童の1日の様子を見て色々と試行錯誤しながら伝えたり、実践している旨をお伝えさせてもらってつづりますが、そこに対しての共感や受け止めがあまり感じられないかと思っております。 施設としては支援所さんからの助言も取り入れるものは取り入れ、児童が少しでも身近な自立の出来るように支援していけたらと思っています。児童本人も全く理解できないわけではない（好きなおやつ、お菓子だったり、家族が早く迎えに来て待っている）があれば全く支援いらずで1人で出来る姿も見えています。助言して下さった言葉かけをすれば児童に対しては指示が入り易いことは十分理解しているつもりですが、そういった姿も見えてきているからこそ、様子を見ながら対応させてもらっているつもりです。支援所さんご家族との話し合いについても全く共有されていないのでどういった目的や目標に向けてすすんでいるのかという連携が出来ていない様に思います。支援所さんには支援所だけではできないことがあるのと同じように施設では時にはお友だちのことも借りながらお互いの成長につなげたり絆を深めていけるように見守っていきたくと思っています。</p>					<p>④いつもお世話になっております。訪問終了後の対応が統一されておらず、申し訳ございません。今後、訪問終了後は先生方とお話をする時間をとっていきます。訪問のときに限らず、いつでもご相談ください。</p> <p>⑤お忙しい中、訪問支援の対応をして下さりありがとうございます。訪問は、基本的に月2回と決まっています。双方の都合により予定が合わない場合は、月1回になる場合があります。また、ご家族様の要望で訪問回数が増える場合もございます。ご了承いただけますと幸いです。 訪問日決定に関しては、職員間で話し合い、最善案を考えてまいります。よろしくお願いたします。</p> <p>⑥貴重なご意見をありがとうございます。 この度は、支援会の開催ができておらず、また十分な情報共有ができていないまま進んでしまい大変申し訳ございません。どんな目標で、どこを目標にしているかなど分からないままで不安や疑問感があったかと思っております。そして先生方が日々、子どもたちと向き合い、試行錯誤しながら現場に立っていることは承知しております。そこに対して共感や受け止めが十分お伝え出来ていなかったこと大変申し訳ありませんでした。支援会を開催し、今後先生方と情報共有を行いながら、児童にとって必要な療育や環境設定などを一緒に考え繋がった支援ができるよう努めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。</p>	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室

公表日 2025年3月14日

利用児童数

7人

回収数

4人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			2	・訪問支援に使用する教具・教材は整えています。必要に応じて適宜教材の見直しや充実を図っていきます。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1	・保育所等訪問支援計画には、ガイドラインに基づきこどもに応じた具体的な支援内容を盛り込んでいます。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		1	・現在は家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後検討していきます。 ・面談などの時間を活用して相談支援に対応しています。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室				公表日	2025年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	5				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	5				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	3	2		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実 施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	5				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	5				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	5				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	5				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	5					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2	3			・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2			・現在実施しておりません。今後ペアレント・トレーニング等の研修に参加し、必要に応じて個別に支援することを検討していきます。また日頃から支援に関する相談に対して、保護者に助言を行っています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3			・今後、必要に応じて行う予定です。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
訪問先	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5				

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		・初回面談時に説明し、必要に応じて面談を行い個別支援計画等にも記載します。